

岩国医療圏地域医療構想病床機能検討部会（令和3年度第1回）議事概要

【日時】 令和3年8月31日（火） 19:00 ～ 20:15

【場所】 岩国総合庁舎1階 入札室

【出席者】 市医師会長、病院関係者、市担当者 等

- 国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や外来機能の明確化・連携に向けた協議の場として調整会議を活用することについて説明を行った。
- 地域医療構想の達成に向けた対応方針の一部修正について、対象医療機関が説明し、協議を行った。

【議事内容】

1 令和3年度地域医療構想調整会議について

県医療政策課から、医療法の改正をはじめとした国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や調整会議の開催方針、医療法上の調整会議の位置づけ等について説明を行った。

また、外来機能の明確化・連携に向けた地域の協議の場として、調整会議を位置付けたい旨の説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 公立・公的医療機関等の対応方針の再検証について、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた見直し等が行われるのか、国の考えが分かれば教えて欲しい。圏域内の公的病院が統廃合されると、今後、感染拡大時にどう対応すべきかという問題もある。

⇒ 感染症対応についての国の基本的な考え方は、現在のコロナ対策を踏まえつつ、医療計画の見直しを進めていくというもの。

地域医療構想については、その背景となる中長期的な見通しは変わっていないため、病床の必要量の推計や考え方等の基本的な枠組みを維持しつつ、着実に取組を進めていくとされている。

- 地域医療構想は病床を削減していこうという流れではあるが、フレキシブルにこの地域を動かすためには、病床数についてある程度のキャパシティがないと、新型コロナへの対応は難しい。病床をとにかく減らせば良いということではない。

2 令和元年度病床機能報告の結果について

県医療政策課から、令和元年度病床機能報告結果等について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 岩国医療センターでは、現在1病棟46床を休棟中。スタッフ不足等により一時的に1病棟を閉鎖している。
- 資料「各医療機関における病床機能報告結果」のうち、「⑤職員数の状況」について、病棟配属の職員数しか記載されていないため、各病院の職種別職員数が実態に即さないデータとなっている。
⇒ 病院全体の職種別職員数の報告はいただいております、今後は、病院の正確な実態に即した形で情報提供をさせていただきたい。

3 令和3年度基金事業について

県医療政策課から、地域医療構想の実現に向けた地域医療介護総合確保基金を財源とする病床機能再編支援事業及び医療機能分化連携推進事業による支援について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 回復期リハビリ病棟を新設する場合、セラピストを一定数確保しなければならず、給与面等を含めて人材確保が非常に難しい。

4 医療機関2025プラン等に基づく協議

(1) 周防病院から、一部病床の介護医療院への転換に係る「医療機関2025プラン」の修正について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

(2) 周防病院から、CTの更新に伴う「医療機器の共同利用計画」について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

(3) 岩国市地域医療課から、「玖北地域の医療提供体制」について、令和2年度に検討した結果の報告を行った。

(主な意見・質問等)

- 岩国地域には後方受入施設となる病院が非常に少ない。急性期病院が救急患者をスムーズに受け入れるためにも、急性期を脱した患者を受け入れ、治療できる病院は重要である。